

令和4（2022）年度SDGs未来都市の選定について

1 SDGs未来都市について

「SDGs未来都市」とは、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として国から選定されるものである。

地方公共団体によるSDGsの取組をさらに推進・支援するとともに、先進事例の創出と成功事例の普及展開による地方創生の深化を目的として、平成30(2018)年度から年に1回募集・選定が実施されており、板橋区は令和4（2022）年度の募集に応募し、SDGs未来都市に選定された。

（参考）令和4（2022）年度SDGs未来都市 30都市（自治体）

※23区では板橋区と足立区

令和3（2021）年度までに124都市（23区では豊島区、墨田区、江戸川区）

2 選定日

令和4（2022）年5月20日

3 提案に求められる内容（全体計画（自治体全体でのSDGsの取組））

- （1）将来ビジョン（2030年のあるべき姿）
- （2）自治体SDGsの推進に資する取組（選定後3年間の取組）
- （3）推進体制（各種計画への反映、行政体内部の執行体制など）
- （4）自治体SDGsの取組実現可能性

4 提案内容（全体計画（自治体全体でのSDGsの取組））

【提案全体のタイトル】

「絵本がつなぐ『ものづくり』と『文化』のまちの実現」

～子育てのしやすさが定住を生む教育環境都市～

【概要】

板橋区は「絵本のまち“板橋”」を推進しており、どこでも身近に、誰でもわかりやすく理解できる「絵本」は、誰一人取り残さないSDGsの理念に通じていることから、この「絵本」とSDGsの基本理念をもとに、ユニバーサルで持続可能なまちづくりを実施していく。

「ものづくりのまち」「絵本のまち」のブランド力を高め、交流とにぎわい・子育てしやすい環境を創出することによって若い世代の定住化を促進するとともに、だれもがいつまでも元気に活躍できる、学びと緑豊かな環境を創造しながら、未来へ継承し続けるまちの実現に向けて、SDGsをより一層推進していく。

		経済	社会	環境
将来ビジョン	2030年のあるべき姿	ものづくりと文化・子育てが活気を生むまち	みんなが元気で暮らしやすいまち	水と緑を生かし安心・安全で住み続けられるまち
	2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット	定住と交流を促進するブランド戦略（30～49歳定住、昼間滞在人口増加）	板橋区版 AIP・ネウボラの深化（健康寿命延伸、30～49歳区民意識「子育てのしやすさ」上昇）	自然と文化にあふれる公園・学校を軸としたまちづくり（温室効果ガス削減、30～49歳区民意識「自然環境・公園満足度」上昇）
自治体 SDGs に資する取組（選定後3年間の取組）		<ul style="list-style-type: none"> ○産業・絵本のまち板橋ブランディング強化 ○駅・商店街を中心としたコンパクトな拠点まちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○シニア世代活躍とフレイル・介護予防推進 ○切れ目のない子育て支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゼロカーボンシティ実現重点施策の推進 ○魅力ある学校・公園づくりの推進

5 今後について

選定された提案内容をSDGs未来都市計画として、7月に国へ提出
 翌年度8月頃 内閣府の自治体SDGs推進評価・調査検討会による進捗評価
 ※上記を含み、3年間毎年進捗評価が実施される予定